

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

「第3回 紀北のつどい」を開催しました！



基調講演の様子

平成30年2月15日(木)紀北町役場の会議室において、尾鷲管内の活動組織8組織、関係者を含め40名が参加し、多面的機能の維持・発揮活動を行っている活動組織の相互の情報交換や意見交換を行うことを目的に、「平成29年度多面的機能の維持・発揮活動 第3回紀北のつどい」を開催しました。本つどいでは、多面的活動組織の紹介、基調講演、意見交換会などを行いました。

多面的活動事例紹介(中里地区保全会)では、代表の松永様から草刈り、獣害の被害状況、獣害柵の補修、小学校児童の田植えから稲刈りまでの収穫体験、畑に菜花を植えた活動などを発表していただきました。

基調講演では、紀宝町農事組合法人飛雪の滝百姓塾代



意見交換会の様子

表理事の木下様、浅里地区環境保全協議会代表の尾鼻様から「多様な人材と連携！獣害対策から始まる地域活性化 紀宝町浅里地区」と題して、獣害対策を通じ、企業と連携を行い地域の活性化を図っている取組などを紹介していただきました。

また、意見交換会では、各組織で直面している課題、獣害対策、耕作放棄地の対策など様々な意見があがり、質疑応答なども含め活発に意見交換をしていただきました。

最後に今後も、多面的機能の維持・発揮活動 紀北のつどいを継続していくことで、活動組織の方々の交流と情報交換の場となるよう、より良いものにしていけるように支援していきたいと思っています。

平成29年度 伊勢管内多面的機能支払交付金活動事例発表会を開催しました。

平成30年2月20日(火)に伊勢市御園町のハートプラザみそのにおいて、多面的機能支払交付金活動事例発表会を開催し、伊勢管内で多面的機能支払に取り組んでいる活動組織と市町関係者約160名の方々に参加していただきました。

活動事例発表会は、伊勢農林水産事務所前田所長の挨拶の後、伊勢農林水産事務所農政室農業振興課の森本主

幹から「獣害対策事業について」と題して、三重県や伊勢農林水産事務所管内における農林水産業被害の現状や獣害対策支援について、講演をしていただきました。

休憩をはさみ、事例発表会では、伊勢市の活動組織「西環境保全会」と南伊勢町の活動組織「内瀬農業ふれあい活動組織」の事例発表会が行われました。

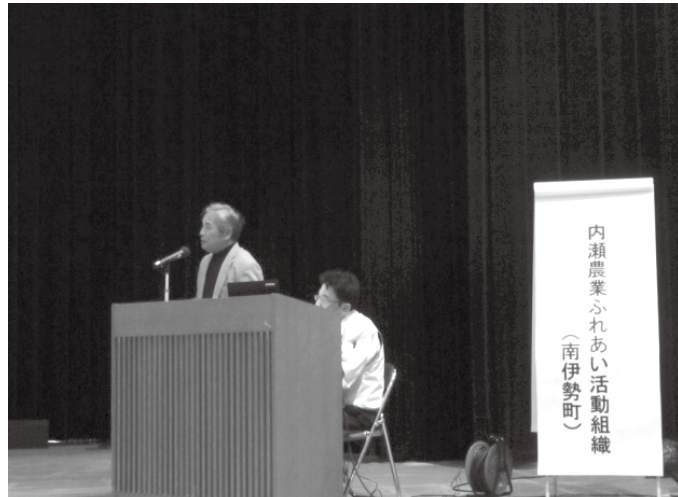
西環境保全会は、農道・水路の草刈り、泥上げや施設の点検・異常気象後の見回りのほか、こども会によるコスモス観賞会や学校教育との連携による芋掘り・試食会などの活動について発表しました。

内瀬農業ふれあい活動組織は、『小さなことをコツコツと!』をモットーに、農地維持・共同活動として、水路の土砂

排除やポンプ場、獣害柵の点検を行い、長寿命化として農道舗装を行うほか、地域との連携として美化活動の取組について発表しました。事例発表の後は、三重県農村地域資源向上委員の奥山委員と丸山委員からそれぞれ講評をいただき、最後に伊勢農林水産事務所農村基盤室の森山室長のあいさつで閉会しました。



伊勢市 西環境保全会



南伊勢町 内瀬農業ふれあい活動組織

「多面的機能の維持・発揮活動 三沓鈴亀のつどい ～農村協働力の活性のために～」を開催しました!!



平成30年2月22日(木)、菰野町町民センターにて、四日市農林事務所管内で初となる「多面的機能の維持・発揮活動 三沓鈴亀のつどい～農村協働力の活性のために～」を、61組織を始め関係者200名の参加を得て、3つの分科会に分かれての意見交換会、その後、基調講演及び事務手続きの説明を行いました。

分科会では「水路・農道等施設の維持」「地域資源の活用」「獣害対策への取組」の3つのテーマごとに集まり、普段は交流のない各市町の活動組織同士で日頃の活動課題や取組手法等活発な意見交換が行われ、基調講演では、国立研究開発法人農研機構から遠藤和子さんを講師にお招きし、

「地域づくりのなかで育まれる農村協働力」と題し、県内先進事例に加え、菰野町の活動組織「田光資源と環境を守る会」「菰野町水土里の郷の会」の活動にもふれ、多面的機能の維持・発揮活動がもたらす効果等について、「農村協働力」をキーワードにご講演いただきました。

参加されたみなさんからは、分科会では「他の活動組織の話が聞けて活動の幅を広げる可能性を見つけた」「話す時間が足りなかった、もっと意見交換したい」など、また、基調講演では、「つながりの大切さを再認識した」や「成功事例の成長の経緯をもっと知りたい」など、活動をよりよくしていきたいという強い思いが多数寄せられました。